

平成24年3月期 ミニ ディスクロージャー誌

くましんの現況 2012

平成23年度(平成24年3月期)の業績につきまして

ご挨拶

平素より皆様方には格別のご愛顧・お引立てを賜り、厚く御礼を申し上げます。本年もミニディスクロージャー誌「くましの現況2012」を作成いたしました。本誌では、幣金庫の経営方針や業務・財務の内容について出来る限り分かり易く開示させて頂くこととしており、幣金庫についてのご理解の一助になれば幸いと考へて作成致しております。なにとぞご高覧頂き、ご理解を深めて頂きますと共に、より一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当金庫は、地域社会の発展に貢献することを第一の目標に掲げ、それを実現するためには安定的な金庫経営の確保が重要である事を肝に銘じて、健全性と独自性を堅持しながら、リスク管理の強化や収益基盤の再構築、経費削減等の合理化・効率化に取り組んで、経営体質の一層の強化に取り組んでまいります。

理事長 品川 良照

当金庫のプロフィール

(平成24年3月末現在)

| | |
|------|---|
| 創業 | 大正12年8月29日 |
| 出資金 | 1,050百万円 |
| 預金 | 136,603百万円 |
| 貸出金 | 72,106百万円 |
| 会員数 | 19,441名 |
| 店舗数 | 19店舗 |
| 役員数 | 204名 |
| 営業区域 | 熊本市、宇土市、八代市、山鹿市、菊池市、玉名市、宇城市、阿蘇市、合志市、上益城郡、下益城郡、八代郡、菊池郡、阿蘇郡、玉名郡 |

(ホームページ)

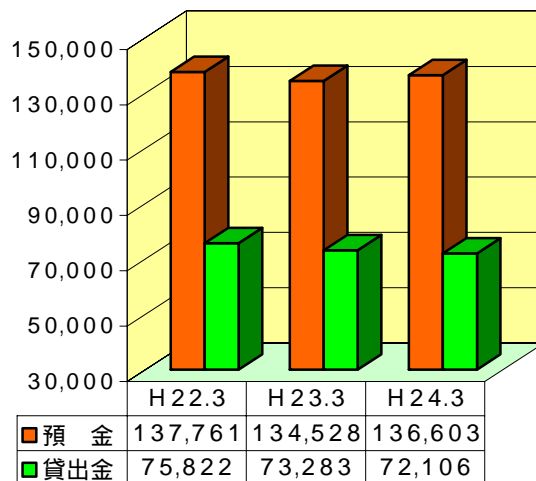
<http://www.kumamoto-shinkin.jp>

預金・貸出金の状況

平成24年3月期末の預金残高は136,603百万円となり、期首比2,074百万円の増加となりました。内訳は、流動性預金が716百万円増加し、定期性預金も1,357百万円増加して、トータル2,074百万円の増加となっております。「高金利定期預金」「宝くじ付定期預金」商品の取り扱い終了や、大口定期預金の上乗せ金利圧縮等の影響を受け、金利選好色の強い個人の定期性預金に一部流出が見られたり、店舗統廃合の影響により、閉鎖店舗の近隣顧客預金の一部に流出が見られたりしましたが、総じて、比較的安定的な推移でありました。今後も小口多数の取引軒数増加を目指し、基幹商品である定期預金や小口定期預金の取り組みに注力しながら、預金増強に努めて参る方針です。

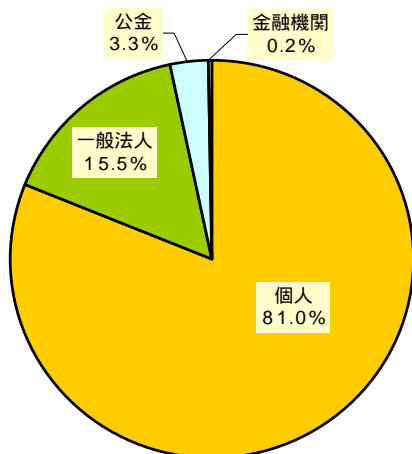
貸出金につきましては、期末の残高が72,106百万円となり、期首比1,176百万円の減少となりました。要因としましては、設備資金を中心とする事業性資金の需要が減退していること、個人の消費性資金需要も盛り上がりつつ低迷していること、その中で住宅ローン市場に象徴されるように、金融機関相互間の競争だけが激化していること等が考えられます。今後は協同組織地域金融機関としての立場を再認識し、信用金庫として、ネットワークを活かしたスピーディな対応とコンサルティング機能発揮の強化を目指してまいります。お客様をよく知り、お客様の声をよく聞くことで、「街のホームドクター」的な役割を果たし、利便性の高い融資商品を提供することで、融資増強に繋げて参る方針です。

預金・貸出金 期末残高

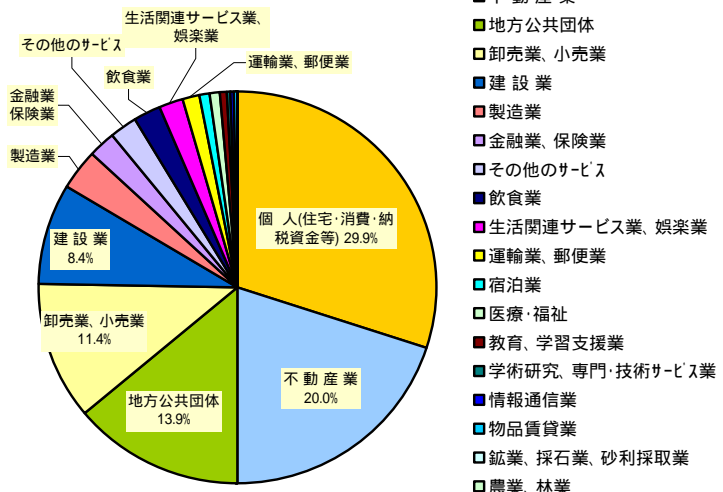


(百万円)

預金の内訳構成 (%)



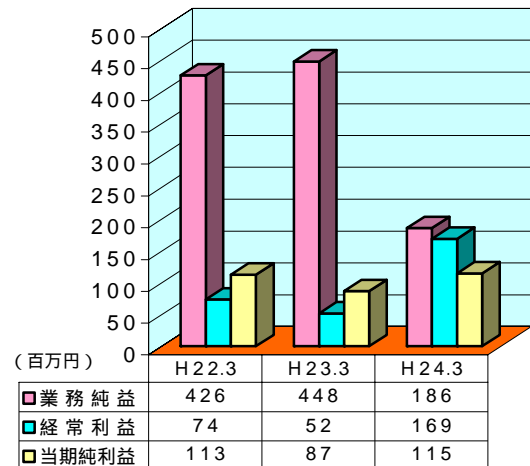
貸出金の内訳構成 (%)



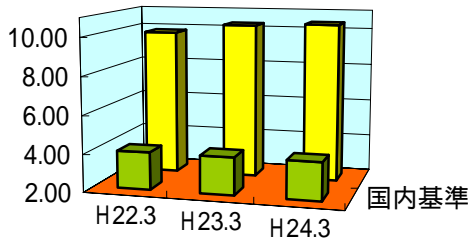
損益の状況

信用金庫の主たるお取引先である中小企業や地域経済に於きましては、未だに本格的な景気回復感を実感することは出来ず、相変わらず資金需要は低迷しております。そのような環境であるが故に、金融機関同士の競合は激しくなり、金利競争の様を呈するような事態も生じました。そのため、貸出金残高・利息収入共に伸び悩む結果となり、貸出以外の利息収入も減少して、資金運用収益は2,485百万円と対前期比で183百万円の減収となっております。一方、預金につきましても金利低下が浸透し、資金調達費用は対前期比で99百万円減少致しました。また、経費削減にも取り組み、人件費・物件費を中心に115百万円が削減できましたため、貸倒れ実績率の大幅低下に伴って「一般貸倒引当金」を中心に実質「償却・引当」等の費用が若干の戻入超過となって対前期比で240百万円改善されたこともあり、経常利益は169百万円と対前期比で117百万円の増加となっております。固定資産の減損処理79百万円も実施しておりますが、当期純利益は115百万円と対前期比27百万円の増加となりました。

損益の状況



自己資本比率



| | H22.3 | H23.3 | H24.3 |
|--------|-------|-------|-------|
| ■ 国内基準 | 4.00 | 4.00 | 4.00 |
| ■ 当金庫 | 9.80 | 10.29 | 10.41 |

(%)

自己資本比率の状況

平成23年度の自己資本比率は、10.41%と前期の10.29%に比べて0.12ポイントの上昇となりました。これは、内部留保の積み増し等により、比率を算出する上での分子となる自己資本額が20百万円増加したこと、加えて、分母となるリスクアセット額が貸出金残高の減少等を理由に408百万円減少して52,615百万円となったことによるものです。

また、当初は平成21年3月期より平成24年3月期までと定められ、今般平成25年3月期までの延長が決定された比率計算上のルールの一部弾力化措置が当期も適用されており、「その他有価証券の評価差損」につきましては、当期も資本(分子)からの控除を見送っております。

なお、自己資本比率の国内基準は4.0%であります。当金庫の比率は本年度もこれを大幅に上回っており、十分な健全性が確保されております。

不良債権の状況

金融再生法開示債権額と保全状況

(単位:百万円、%)

| | 平成21年度 (平成22年3月期) | 平成22年度 (平成23年3月期) | 平成23年度 (平成24年3月期) |
|--------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 金融再生法上の不良債権 | 4,681 | 4,435 | 4,407 |
| (A)=()+()+() | | | |
| 破産公正債権等 | () | 1,534 | 1,159 |
| 危険債権 | () | 2,680 | 2,883 |
| 要管理債権 | () | 466 | 364 |
| 正常債権 | (B) | 72,218 | 69,794 |
| 合計額 | (C)=(A)+(B) | 76,900 | 74,230 |
| 不良債権比率 | (D)=(A)/(C) | 6.08% | 5.98% |
| 保全額 | (E)=()+() | 3,583 | 3,386 |
| 貸倒引当金 | () | 604 | 540 |
| 担保・保証等 | () | 2,979 | 2,763 |
| 保全率 | (F)=(E)/(A) | 76.55% | 76.35% |
| 担保・保証等控除後債権に対する引当率 | (G)=()/(A)-() | 35.50% | 40.20% |

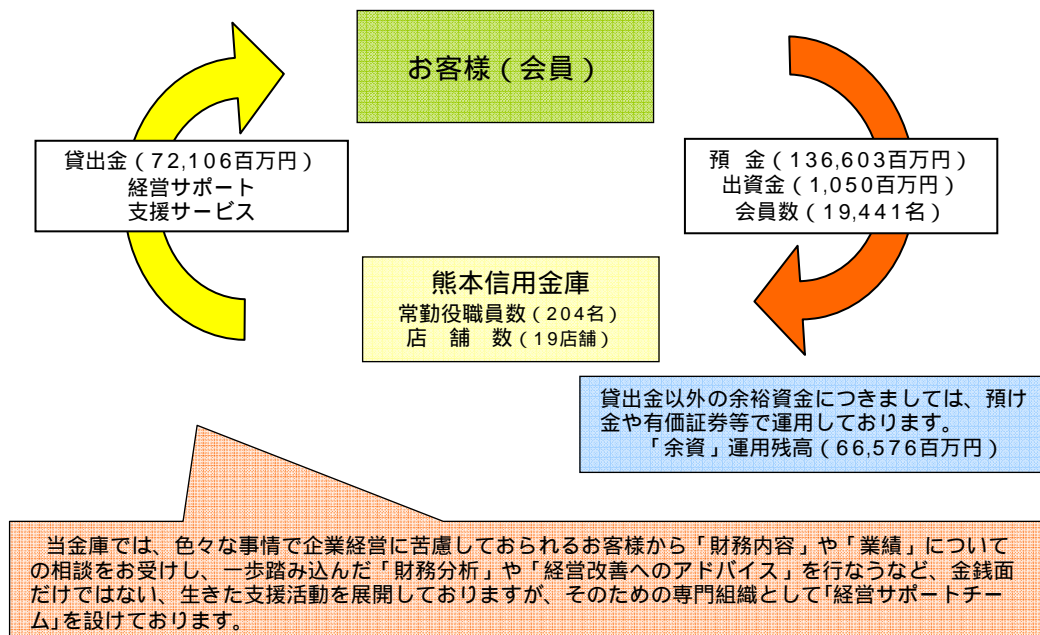
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権()」とは、破産、会社更生、再生手続等事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権()」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権()」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
- 「正常債権(B)」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権()」、「危険債権()」、「要管理債権()」以外の債権をいいます。
- 貸倒引当金()は、個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。
- 「担保・保証等()」とは、「金融再生法上の不良債権(A)」のうち、預金・積金、有価証券及び不動産等の担保並びに信用保証協会等機関保証による回収が可能と見込まれる金額です。

熊本信用金庫と地域社会

当金庫は、熊本市とその周辺地域を主な営業区域と定め、地元中小企業事業者の皆様や地域住民の皆様に「会員」や「お取引先」となっていて、営業を営んでおります。その営業は「お互いを助け合い・お互いに発展して行く」ことを基本理念とし、数多く存在する金融機関の中でも「相互扶助型金融機関」と位置付けられる所以となっております。

地元の皆様との間では強い絆やネットワークを形成しており、「地元のおお客様」からお預かりした大切な資金（預金積金）は、資金を必要とされる「地元のおお客様」を中心にご融資するなど、「地元」の事業や生活繁栄のお手伝いを第一の目標として日々の活動を行っております。熊本信用金庫は単なる金融機能の提供に止まらず、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努め、文化・環境・教育といった多方面も視野に入れながら、広く地域社会の活性化に寄与すべく積極的な活動に取り組んでまいります。

(平成24年3月末現在)



| 店番 | 店舗名 | 住所 | 電話 |
|-----|--------|------------------------------|--------------|
| 001 | 本店営業部 | 〒860-8655 熊本市中央区手取本町2番1号 | 096-326-2211 |
| 002 | 二本木支店 | 〒860-0051 // 西区二本木2丁目12番14号 | 096-354-4811 |
| 003 | 川尻支店 | 〒861-4115 // 南区川尻4丁目13番8号 | 096-357-6231 |
| 005 | 健軍支店 | 〒862-0908 // 東区新生2丁目3番4号 | 096-367-1011 |
| 006 | 子飼支店 | 〒860-0853 // 中央区西子飼町10番5号 | 096-343-5233 |
| 008 | 南熊本支店 | 〒860-0813 // 中央区琴平2丁目1番1号 | 096-372-1133 |
| 009 | 県庁前支店 | 〒862-0950 // 中央区水前寺6丁目31番24号 | 096-381-3000 |
| 010 | 新外支店 | 〒862-0913 // 東区尾ノ上4丁目11番30号 | 096-367-3811 |
| 011 | 上熊本支店 | 〒860-0072 // 西区花園1丁目2番2号 | 096-325-1231 |
| 012 | 秋津支店 | 〒861-2102 // 東区沼山津3丁目3番2号 | 096-365-1101 |
| 013 | 薄場支店 | 〒861-4131 // 南区薄場3丁目1番1号 | 096-357-0611 |
| 014 | 江津支店 | 〒862-0941 // 中央区出水5丁目11番41号 | 096-363-1611 |
| 015 | 新地支店 | 〒861-8075 // 北区清水新地5丁目10番33号 | 096-339-1222 |
| 016 | 御幸田迎支店 | 〒861-4172 // 南区御幸田1丁目1番7号 | 096-379-0006 |
| 017 | 長嶺支店 | 〒861-8039 // 東区长嶺南3丁目8番114号 | 096-381-3288 |
| 019 | 宇土支店 | 〒869-0431 宇土市本町4丁目14番 | 0964-23-5511 |
| 020 | 菊陽支店 | 〒869-1101 菊池郡菊陽町津久礼2429番1号 | 096-232-3330 |
| 021 | 合志支店 | 〒861-1112 合志市幾久富1758-147 | 096-248-3335 |
| 022 | 飛田支店 | 〒861-5514 熊本市北区飛田4丁目10番7号 | 096-344-1313 |

印の自動機は土・日曜日も稼働しております。

印の自動機は土・日曜日、祝日も稼働しております。